

いせ



第81号

令和7年11月26日号

発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報広聴検討分科会

市議会だより

題字 宮山小学校5年 伴 ころろ さん



4年間

ありがとうございました

令和7年10月7日（火）の市議会定例会最終日に、現職の市議会議員が市長、副市長と一緒に記念撮影を行いました。

議員 三野 泰嗣	議員 大西 要一	議員 久保 真	議員 北村 勝	議員 野崎 隆太	議員 楠木 宏彦	議員 上村 和生	議員 宮崎 誠	議員 川口 浩	事務局長 杉原 正基	
議員 吉井 詩子	議員 吉岡 勝裕	議員 宿 典泰	議員 鈴木 豊司	議員 福井 輝夫	議員 西山 則夫	議員 藤原 清史	議員 野口 佳子	議員 井村 貴志	議員 品川 幸久	議員 岡田 善行
議員 (監査委員) 中村 功	副議長 辻 孝記	議長 浜口 和久					市長 鈴木 健一	副市長 藤本 亨	副市長 福井 敏人	

主な記事

9月定例会の概要 2ページ
決算分科会審査の概要 4～5ページ
審議した案件と結果、賛否一覧表 6ページ

市政を問う（一般質問） 8～12ページ
伊勢市議会の4年間の主な取り組み 14～15ページ
高校生との意見交換会を実施 16ページ

令和7年
9月定例会令和6年度
決算審査一般会計および特別会計を賛成多数、
企業会計を全会一致で認定

9月定例会の概要

令和7年9月市議会定例会を、9月8日から10月7日までの30日間の会期で開催しました。

今定例会では、令和6年度決算認定をはじめとする25議案が提出され、本会議、決算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各決算議案を可決・認定、他の議案をいずれも原案どおり可決・同意しました。



決算の概要説明をする
会計管理者（9月8日）



決算の監査結果を報告する
代表監査委員（9月8日）

議決結果は6ページ、一般質問の概要は8〜12ページをご覧ください。

そのほか、請願2件のうち1件を採択、もう1件を継続審査とし、発議1件は可決しました。

なお、10月7日の本会議において、「令和6年度決算認定」について、および「小中学校給食無償化を求める請願」を※継続審査とすることについて、それぞれ反対討論がありました。

決算特別委員会を設置

9月16日の本会議において、「令和6年度決算認定」外3件を詳細に審査するために決算特別委員会を設置し、「総務政策分科会」、「教育民生分科会」および「産業建設分科会」の3つの分科会を設けました。

その上で、一般会計、各特別会計および各企業会計の令和6年度決算について、それぞれの分科会を開催し、審査しました。

分科会審査の詳細は4〜5ページをご覧ください。



決算特別委員会の辻委員長（左）と藤原副委員長（右）
（9月16日）

9月定例会日程

- 9月
- 8日。本会議（議案の提案説明等）
。全員協議会
 - 16日。議会運営委員会
。本会議（委員会審査付託・一般質問）
。決算特別委員会（全体会）
 - 17日。本会議（一般質問）
。議会運営委員会
 - 19日。決算特別委員会（分科会審査）
。産業建設分科会
。産業建設分科会
。教育民生分科会
。総務政策分科会
 - 24日。産業建設分科会
。教育民生分科会
 - 25日。総務政策分科会
 - 29日。総務政策分科会
 - 10月
 - 1日。産業建設委員会
 - 2日。教育民生委員会
 - 3日。総務政策委員会
。決算特別委員会（全体会）
 - 7日。議会運営委員会
。本会議（議案採決等）
。教育民生委員会

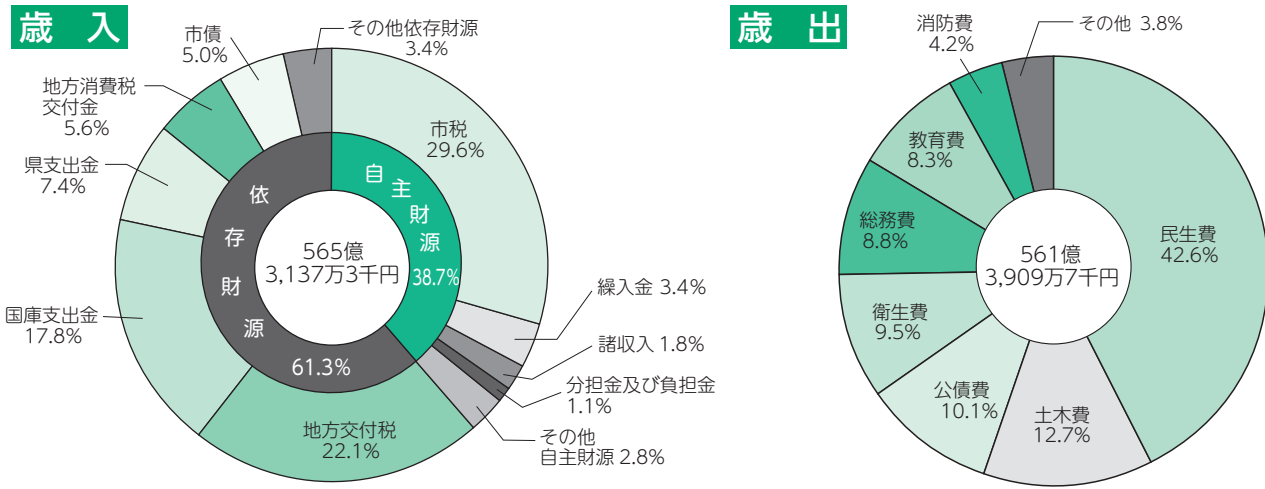
※教育民生委員会の審査において、もう少し国の動向を見ながら審査していく必要があるとして継続審査となっているものです。

◆令和6年度一般会計・特別会計・企業会計決算（概要）◆

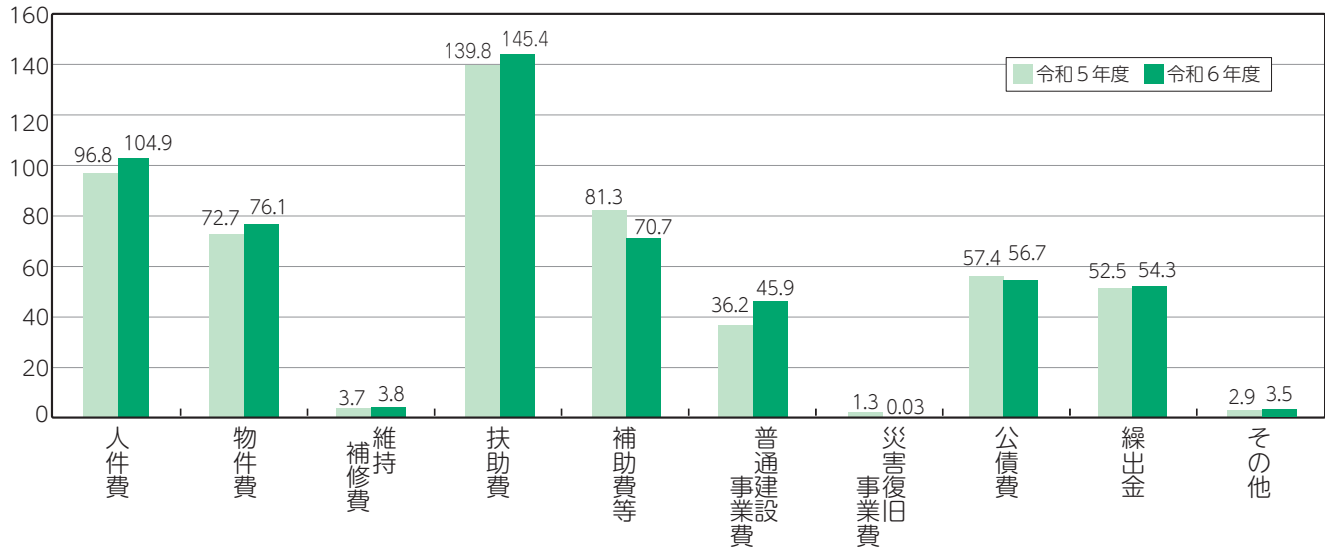
会 計 名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引差額
一 般 会 計		565億3,137万3千円	561億3,909万7千円	3億9,227万7千円 (基金積立額および翌年度へ繰越すべき財源を含む)
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	123億8,339万7千円	122億6,467万5千円	1億1,872万2千円 (基金積立額を含む)
	後 期 高 齢 者 医 療	39億7,876万円	39億201万3千円	7,674万7千円
	介 護 保 険	155億9,094万円	152億7,626万1千円	3億1,467万9千円
	観 光 交 通 対 策	6億803万6千円	5億7,483万円	3,320万6千円
	土 地 取 得	7,632万9千円	7,626万5千円	6万3千円
会 計 名		収益的収入(税抜き)	収益的支出(税抜き)	差引損益
企 業 会 計	病 院 事 業	84億5,269万2千円	90億1,007万9千円	▲5億5,738万7千円
	水 道 事 業	25億2,367万7千円	23億816万9千円	2億1,550万8千円
	下 水 道 事 業	39億2,049万9千円	36億3,798万円	2億8,251万9千円

※千円未満を四捨五入しているため、歳入決算額から歳出決算額を引いた金額と歳入歳出差引差額が一致しない場合があります。

◆令和6年度一般会計決算の内訳（目的別）◆



◆一般会計 歳出(性質別)決算額の前年度比較◆



決算審査

産業建設分科会（9月19日、24日）

○一般会計

（歳入）

住宅使用料収入未済額の削減

（歳出）

総務費 駐輪場管理経費の削減、高齢者等の移動手段の確保、自転車の交通ルール啓発

労働費 奨学金返還支援、若年求職者等支援、障がい者の雇用促進

農林水産業費 農業体験の手法再考、農家の後継者対策、宮川用水の通水開始時期の前倒し、獣害対策、森林経営管理など

商工費 商店街等通行量調査、地域おこし協力隊

観光費 交通系 IC カードの利用環境整備、観光客の宿泊日数増に向けた取組、伊勢志摩せんぐう旅博の PR など

土木費 地籍調査、道路における鳥のフン害対策、狭あい道路の整備、通学路交通安全プログラム、中心市街地の活性化、小木川の改修、都市計画基礎調査、空き家バンクの物件数増加に向けた取組、ブロック塀等の撤去補助、公営住宅の指定管理のあり方など

○特別会計

・観光交通対策特別会計 駐車場管理経費の抑制による安定した事業運営

○企業会計

・水道事業会計 決算書への内部留保資金の明示、将来的な水道事業のダウンサイジング化を含めた検討、水質の安全性の周知

・下水道事業会計 使用料減収が見込まれる中での長期的な視点での経営検討、合併浄化槽となる地区への説明、水洗化率向上のための取組、繰越工事抑制のための工夫、雨水事業の推進



産業建設分科会（9月19日）



（9月24日）



産業建設分科会の審査結果を報告する品川会長
（10月3日）

決算審査

教育民生分科会（9月25日）

○一般会計

（歳出）

民生費 再犯防止対策、障がい者虐待防止、ワークステーションいせの取組、ひきこもり対策、重層的支援体制の整備、保育士の確保、チャイルドシートのレンタルなど

衛生費 予防接種費用の助成、不妊不育治療費の助成、母子手帳の電子化、市営墓地の管理、ごみの減量・分別など

教育費 学校水泳の民間プール施設活用、学校安全ボランティアの人材確保、子ども読書支援の拡大、部活動の地域展開、不登校対策、屋内運動場の空調整備、学校トイレの改修、インクルーシブスポーツの推進など

○特別会計

・国民健康保険特別会計 マイナンバーカードの健康保険証利用

・後期高齢者医療特別会計

・介護保険特別会計 認知症あんしんガイドブックの充実、成年後見制度の活用

○企業会計

・病院事業会計 社会経済情勢等の変化に対応できる病院経営



教育民生分科会（9月25日）



教育民生分科会の審査結果を報告する野崎会長
（10月3日）

決算審査

総務政策分科会（9月29日）

○一般会計

（歳入）

市税収入未済額の削減、デジタル技術導入に係る交付金の活用促進

（歳出）

総務費 会計年度任用職員の給与引き上げ、外部人材の活用、広報体制の充実、デジタル格差の是正、ふるさと応援寄附の推進、移住・定住施策の推進、男女共同参画の推進、支所業務の代替、自治会の担い手不足の解消、書かない窓口の推進など

民生費 隣保館運営の見直し

消防費 消防団車両の高台避難場所確保など



総務政策分科会（9月29日）



総務政策分科会の審査結果を報告する西山会長
(10月3日)

決算特別委員会（10月3日）・本会議（10月7日）

10月3日の決算特別委員会全体会で、各分科会の会長から分科会審査の結果報告と採決がありました。また、これを受け、10月7日の本会議で、辻孝記決算特別委員会委員長が決算全体の審査結果を報告し、採決の結果、すべて可決・認定されました。



決算特別委員会（10月3日）



本会議(10月7日)



決算特別委員会の審査結果を報告する辻委員長
(10月7日)

伊勢市議会動画配信

伊勢市議会では、^{ユーチューブ} YouTube を利用し、ホームページで会議の動画を配信しています。

また、いせ市議会だよりの紙面上では、動画へとリンクする二次元コードを掲載しており、スマートフォンやタブレットで読み取ると、動画が視聴できます。

※視聴に対する通信料等は、視聴者の方のご負担となります。



9月定例会で審議した
主な議案の内容

令和7年度補正予算

▽令和7年度伊勢市一般会計補正予算(第3号)

2億6835万4千円

総務費

- ・地方創生推進事業

8000万円

クラウドファンディング

型ふるさと納税活用補助金の申請件数が当初の想定を上回り、補助金に不足が見込まれることから増額補正するもの。

衛生費

- ・市営墓地管理一般経費

1932万7千円

令和8年1月から市営化する伊勢やすらぎ公園墓地の管理等に係る経費を計上するもの。

土木費

- ・排水機場維持管理経費(ポンプ場機能更新)

1800万円

排水ポンプの緊急修繕により、修繕費に不足が見込まれることから、必要経費を計上するもの。

- ・住宅・建築物耐震改修等促進事業

1900万円

戸別訪問による住宅耐震化の啓発強化により、耐震補強等に係る補助申請件数の増加が見込まれることから、必要経費を計上するもの。

条例

▽伊勢市消防団条例の一部改正

高齢化の進展や若者の新たな確保が困難な中、消防団員の確保を図るため、条例を改正するもの。

市内に勤務、在学している方の入団が可能となるほか、60歳の定年制を撤廃する。

施行期日

令和8年1月1日

▽伊勢市歴史博物館条例の制定

伊勢市の豊かな歴史文化を市内外へ発信する拠点として、いせ市民活動センター北館施設の2階に、伊勢市歴史博物館を設置しようとするもの。

伊勢参りの変遷や歴史的な町並みの変化、お木曳行事をはじめとした民俗文化等、多様で特色ある歴史文化をテーマにした展示を行う。令和8年3月以降の開館を予定。



イメージ図



位置図

その他

▽伊勢フットボールヴィレッジAピッチ人工芝張替工事の請負契約

1億5473万7千円

朝熊町の伊勢フットボールヴィレッジAピッチの人工芝8970平方メートルを張替えるもの。令和8年2月の完了を予定。

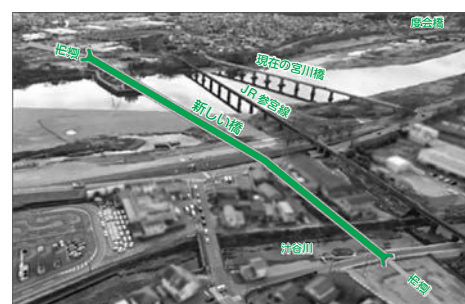


伊勢フットボールヴィレッジAピッチ

▽高向小俣線道路整備工事の請負契約

2億4671万9千円

小俣町側の汁谷川から西側方向、146メートルの区間について、地盤改良工を行うもの。令和8年10月上旬の完了を予定。



整備箇所

▽市道高向小俣線(宮川橋)橋梁架替事業【令和5年度～令和7年度橋梁架替(下部工)工事(P3～P5橋脚)】の受託事業契約の変更

▲9710万6千円

橋脚基礎の支持層の位置について、ボーリング調査の結果と現場の状況に相違が生じる場合を考慮して、事業費を算定していたところ、当初の計画どおりの位置で施工が完了したことにより、契約金額が9710万6千円の減額となり、24億円から23億289万4千円に変更となるもの。

市政を問う

各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取るとその議員の動画が視聴できます。

8人の議員が質問

9月16日 鈴木 豊司 8 ページ
宿 典泰 9 ページ
吉井 詩子 9 ページ
野口 佳子 10 ページ
川口 浩 10 ページ

9月17日 楠木 宏彦 11 ページ
宮崎 誠 11 ページ
野崎 隆太 12 ページ

議案質疑 …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

一般質問 …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること



すずき とよし
鈴木 豊司

(未来創成)

人口減少や水道管の老朽化対策等を背景に、水道料金の引上げは避けられないと思うが、緩やかな料金改訂を望む

動画はこちらから



一般質問

答 水道事業ビジョンでは大幅な引上げを避け、令和11年度24%、令和16年度9%と段階的な増額の見通しを立てている

問 水道料金を24%引上げた場合の市民への影響は。
答 一般家庭で20㎡/月使用した場合、月641円、年間7692円の増額となる。

問 ハラスメント対策について職員へのハラスメントの実態が明らかになったが、(パワーハラスメント等)340人、カスタマーハラスメント229人)その対策を聞きたい。

答 研修の継続実施や相談体制の拡充強化に努め、不当要求等にあつては対応マニュアルの周知徹底を図り、安心して職務に従事できる環境づくりに努める。

市町村合併の検証について
問 市町村合併10年では合併の検証を行い公表したが、20年目に当たる今回は検証を行うのか。

答 合併検証の視点ではなく、基礎自治体の基盤を確立しながら、簡素・効率を基本に市政全般にわたり、検証・分析を行う。

問 市が現時点では必要がないと判断している「市民憲章」は、市民の規範となり必要と考えるが、再検討してはいかがか。

答 市民の機運の高まりや意見を踏まえ、制定の考え方や検討について整理したい。

公共施設のマネジメントについて
問 市町村合併で膨れ上がった公共施設の管理運営について、統合・廃止等の方針から、新たな価値を生み出す施設利用が考えられないか。

答 現在の施設類型別計画について、新たな視点等も考慮しながら見直しを進めたい。



一般質問



宿 のりやす 典泰

(政友会)

総合計画・後期基本計画への関連計画の統合は、市民が伊勢市の将来像を想像できるかが重要であるがどう考えているか

答 統合することで効率的・効果的な市政運営ができると考えている

動画はこちら



問 後期基本計画の下での「計画期間中に適切な進捗管理ができる計画とする」とあるが、可能であるのか説明されたい。

答 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が目指す人口減少に対応した持続可能な地域社会の実現は、市政運営の前提となるもので、総合計画の目的そのものであることから包含・統合することとした。

問 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が目指す人口減少に対応した持続可能な地域社会の実現は、市政運営の前提となるもので、総合計画の目的そのものであることから包含・統合することとした。

問 伊勢市総合計画は「伊勢市が行う政策や事業の根拠となる最上位計画となるもので、まちの将来像やまちづくりの基本理念を明らかにし、市政運営の基本的方向を示すもの」とされており、また、「伊勢市総合計画・後期基本計画を「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「スマートシティ伊勢推進構想」「行財政改革指針」を包含した計画とする」とあるが、統合に至る経緯と、この3つとした理由を説明されたい。



第3次伊勢市総合計画 中期基本計画 (令和4年度～令和7年度)

答 アンケートだけでなく高校生懇談会等、若者との意見交換も実施しており、聞き取った意見を真摯に受け止め、今後の計画策定や市民ニーズに合った取り組みに反映していきたい。

答 策定後においては、現状や事業効果等を取りまとめ、議会や市民の皆様と共有、協議しながら市政運営を行っていききたい。

問 総合計画は、市民・事業者・会社経営者が計画を読んで10年、20年先の伊勢市の将来像を想像できるかが重要である。そのためにどのような手法を考えているか。

一般質問



吉井 うたこ 詩子

(公明党)

市民によりそう包括的な支援体制、重層的支援体制整備事業の今後の取り組みは

答 新たな整備方法を検討しながら、さらなる強化を図る

動画はこちら



答 体制強化、受け皿となる資源を増やす取り組みを強化する。

問 成年後見制度については、国において、適切な時期、範囲、期間で利用できる制度に見直しをする議論がされている。市における中核機関や市民後見の強化についての認識を聞きたい。

答 関係機関と共に研究していきたい。

問 成年後見制度については、国において、適切な時期、範囲、期間で利用できる制度に見直しをする議論がされている。市における中核機関や市民後見の強化についての認識を聞きたい。

問 居住支援事業にも取り組むのか。

答 住まい相談支援員の配置を含め居住支援を検討していく。

問 終活情報登録事業について検討しているか。

答 ライフデザインノートの普及と連動して、終活情報登録事業の実施に向けて、現在検討を進めているところである。

問 身寄りのない方等への入退院の支援や、死後における事務支援についての考えはあるか。



答 熱中症対策用品の使用状況の実態を把握し、他市町の事例も含めて研究したい。

問 通学時にネッククーラーをつける児童のための冷凍庫を学校に設置してはどうか。

答 補助を行っている自治体はまだ少ない状況であるが、近年の猛暑への対応として、エアコンの必要性は高まることが予想されるため、財政状況等勘案しながら研究したい。

問 高齢者等のエアコン設置補助についての考えはなにか。

答 補助を行っている自治体はまだ少ない状況であるが、近年の猛暑への対応として、エアコンの必要性は高まることが予想されるため、財政状況等勘案しながら研究したい。

一般質問



のぐち よしこ
野口 佳子

(志誠会)

農業だけでは生計が立てられない担い手もいると考えるが、実情をどのように把握しているのか

動画は
こちらから



答 収入に対して支出が大きくなり、農業経営が不安定になっていることが課題である

問 後継者や就農を希望する若者へ新たな担い手対策を実施する考えはないのか。

答 将来にわたって地域の農業を担っていただく農業者に対して、農業用機械の導入等経済面での支援に加え、地域の核となる認定農業者や認定新規就農者となるための経営計画の作成についても支援している。

問 担い手を増やしていくために、楽しみながら農業をする方法はないのか。

答 農業経営の不安定さが課題となっており、農作業の省力化による田畑等の区画の拡大や収穫量の向上、作業時の体への負担を軽減させる機器の導入、経験の少ない人でも技術をデータ化することで農業技術の継承が可能になる等、ICT技術を活用したスマート農業を進めることで、もつかる農業の実現に向けた支援に取り組みたいと考えている。また、将来の担い手である子どもたちへの学習の場として、市内小学



GPS付き田植え機

生の農業体験において、農業現場でのスマート機器の活用状況の見学や映像による勉強会を行っており、従来の農業に加え、スマート農業を知ること、農業技術の進化を知り、農業への関心を持つ機会になっていると考えている。

問 農業を続ける方々の中には様々な要因で収入が不安定になることがあるが、どのような支援をしているのか。

答 農業経営の安定を図るため、農業経営収入保険の保険料の一部を支援している。

一般質問



かわぐち ひろし
川口 浩

(日本共産党)

県営五十鈴公園への立体駐車場整備は都市公園法に抵触しないか

動画は
こちらから



答 立体駐車場は公園施設の位置付けで、法的な問題はない

問 都市公園に設置できる公園施設は、運動施設、駐車場、飲食店、トイレ等である。ただし、公園施設は都市公園の効用を全うするものと都市公園法で条件が付けられている。立体駐車場は休息、休養、体力増進等の五十鈴公園の機能・効用目的でなく、内宮、おはらい町に向かう利用者を想定している。この点で都市公園法に抵触していないか。

答 三重県営総合競技場でのスポーツ大会開催時は、県営駐車場の収容台数が足りず、市営駐車場を圧迫して渋滞も発生している。立体駐車場は陸上競技場や公園利用者の駐車需要に応えるもので整備に問題はないと考えている。

問 立体駐車場整備に県の関与を求め、県が財政面でも応分の負担をするべきではないか。また市は駐車場確保の責任をどこまで負うのか。

答 市は来訪車両による内宮周辺の渋滞解消に責任を

負っているため、立体駐車場を含む内宮周辺駐車場の整備費、運営費は市で賄っていく。

問 内宮周辺駐車場の整備手法について、市は最終案で民間事業者への包括発注など、官民連携（PPP）の枠組みを示した。今後、収支状況や財政負担縮減効果を議会に開示する考えはあるか。

答 可能な限り議会に報告する。

その他の質問
・ 小中学校の給食無償化について



市が立体駐車場整備を検討している五十鈴公園駐車場

※農業経営収入保険…全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少等、農業者の経営努力では避けられない収入減少を広く補償する保険。

※三重県営総合競技場（三重交通G スポーツの杜 伊勢）

一般質問



くすき ひろひこ
楠木 宏彦

(日本共産党)

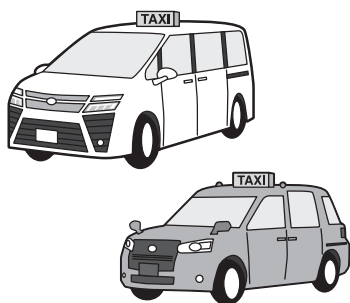
停留所や時間を自由に選択できるデマンドタクシーの導入を考えるべきだ

答 市内全域での導入は難しいが、多様な選択肢の1つとして検討する必要がある

動画はこちらから



- 問** 多くの市民がバス停が遠い、本数が少ない等、公共交通の不便さを訴えている。市民の移動需要を満たし、市民生活を支える観点から、今後の公費投入のあり方についてどのように検討していくのか。
- 答** 自動運転を始めとした先端技術の導入等、多様な選択肢を想定している。
- 問** 多様な選択肢とはどういうことか。
- 答** 地域にあった車両サイズ、予約システム、運行形態の3つの要素とコスト面を組み合わせる選択肢になる。
- 問** 移動困難地域の現状、需要を調べ、コストよりも住民福祉の立場からデマンドタクシーの実現を図る姿勢が求められると思うがどうか。
- 答** コストが一番大事な点と考えている。人口の94%を公共交通でカバーしており、公共交通としての役割は果たしている。
- 問** なぜ空のバスが走っているのか、デマンドのほうが合理的ではないかという声が市民からあるがどうか。
- 答** 運転手の拘束時間はデマンドでも定時運行バスでも同じであり人件費は変わらない。路線バスの利便性を高めるため、利用が少ない時間も定時運行を行っている。



- 問** 国土交通省の文書には、「地方公共団体や交通事業者のみならず、各分野の関係者や住民等の多様な関係者が、(中略)連携・協働を強化していくことが重要である」とある。どのように進めていくのか。
- 答** 伊勢地域公共交通会議において、引き続き活発な議論を行っていききたい。

一般質問



みやざき まこと
宮崎 誠

(新政いせ)

市独自の中小企業・小規模企業振興条例を制定する考えを問う

答 市独自の条例制定については、今後研究していく

動画はこちらから



- 問** 小規模事業者や新たに創業される方への支援は。
- 答** 小規模事業者へは経営基盤の強化や経営力向上などの事業継続に向けた支援、創業者へは創業しやすい環境づくりと創業後の安定経営に向けた支援を商工団体等と連携して行っている。今後もし引き続き必要な支援策が事業者や創業希望者へ届くよう情報発信していく。
- 問** 事業者に対するデジタル化や人材育成の支援は。
- 答** リカレント教育のセミナーの開催や、ITパスポートの取得支援を行っている。業種や企業規模により求められる必要な支援等に関係機関と連携していく。
- 問** 産業支援の情報発信は。
- 答** 事業者に対し支援等の必要な情報が適切に届くよう努めていく。
- 問** 道路・公園損傷通報システムの運用状況について
- 問** 令和6年6月17日から運用が開始され、1年が経過した。通報件数と推移は。
- 答** 運用開始から約1年間に96件、そのうち69件が市管理の道路・公園に関するもの。件数については、一定数で推移している。
- 問** より多くの方々に利用していただくための課題は。
- 答** 通報システムはLINEからの利用と市HPからの2通りの利用方法がある。HPからの利用では、システム検索に苦労するとの意見があり、検索のしやすさに課題があると考えている。
- 問** 他自治体の整備状況を踏まえた今後の改善は。
- 答** 今後のシステム改善については、より利用しやすくなるよう研究するとともに、利用方法についても広く周知に努めていく。



道路・公園 損傷通報システム

一般質問

動画はこちら



地域計画に協力いただく大規模農家や法人が撤退をするリスクをどのように考えているか

のざき 野崎 りゅうた 隆太

(自由民主党)

答 問題を未然に防ぐため、担い手が耕作しやすい環境を整備し、支援を行っていく必要がある

問 地域計画で田畑の活用を進めていただいている。策定の状況を聞きたい。

答 令和6年度末までに栗野町、中須町、津村町、植山町および磯町の5地区での策定が完了している。他の地区では、現在計画策定に向けた話し合いが進められている。策定に当たり、高齢化や後継者の不在による担い手不足が課題としてあげられる。

問 担い手農家が契約更新をしなかった事例を複数の地区で聞いている。水不足の話や、地域計画の中で契約している担い手企業の撤退への不安の声も聞く。地域計画に関わる話であれば、市の計画に関わってくる。市が関与し聞き取りを行う事も必要ではないか。

答 耕作者から水が足りないという話は伺っている。水不足は、雨が少なくといった原因のほかにも用水の利用の方法等の要因が考えられる。効率的な用水利用と節水への協力を促すこ

とも重要で、関係団体と連携しながら啓発活動に努めたい。

問 新規就農の担い手に対しての支援、若い就農者の話は多く議論になるが、既存の農家や兼業農家に対しての補助や金銭負担についてどのように考えているか。

答 既存の農家の方々に對しても、機械購入等の必要な経費について支援をしている。将来的に地域の核となる担い手を育成するため、認定農業者となるための計画作成等への支援を今後も続けたい。

伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想

令和5年10月策定
三重県伊勢市

伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想

議会日誌

8月

7日。高校生との意見交換会

。各派代表者会議

18日。政策等検討分科会

20日。高校生との意見交換会

22日。市議会防災訓練

25日。産業建設委員会

。同協議会

26日。政策等検討分科会

。同協議会

27日。総務政策委員会

。同協議会

。議会ICT検討分科会

9月

1日。議会運営委員会

。同協議会

。各派代表者会議

8日。9月定例会

8日。広報広聴検討分科会

10月

2日。教育民生委員協議会

7日。議会のあり方調査特別委員会

。広報広聴検討分科会

。各派代表者会議

8日。9月定例会

8日。広報広聴検討分科会

10月

2日。教育民生委員協議会

7日。議会のあり方調査特別委員会

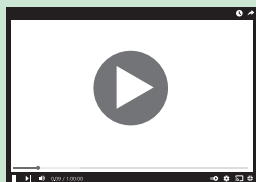
。広報広聴検討分科会

各種ご案内

議会放映

本会議、予算・決算特別委員会（設置された場合）の模様を会議のあった日の翌日午後2時と7時からの2回、また定例会終了後の翌々日午後8時から再放送をケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで放映します。

なお、伊勢市議会のホームページでYouTubeページを利用した動画配信も行っています。インターネット環境があれば、時間を気にせず視聴していただくことができますのでご利用ください。



伊勢市議会動画配信 検索

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

9月定例会会議録

9月定例会の詳細は、「9月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ12月中旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

12月定例会は、12月上旬開会の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

広報広聴検討分科会行政視察報告

視察日 令和7年7月24日（木）～25日（金）

視察先及び内容

○大阪府八尾市「議会だよりについて」

- ・中核市議会報コンクールにて優秀賞や審査員特別賞の受賞歴があり、わかりやすい誌面づくりを目指しています。
- ・編集ソフトを導入し、デザインやレイアウトといった記事作成の全てを自前で扱い、印刷製本のみ委託をしています。
- ・平成11年3月定例会号から、これまで別々に発行していた市政だよりと市議会だよりを合冊で発行することにより費用削減に取り組んでいます。



八尾市での視察の様子

○兵庫県神戸市

「高等学校と連携した主権者教育の実践について」

- ・全国市議会議長会に、全国の先進的事例として取り上げられています。
- ・神戸市の歩みについて高校生から研究成果を発表、議員と意見交換や質疑応答を行い、最終的に班の中で出された意見の結果をまとめ、合意形成を図るといった内容で、社会課題について、考え、判断し、意思決定を行う経験をすることで、政治に積極的に参画する姿勢を養っています。



神戸市での視察の様子

政策等検討分科会行政視察報告

視察日 令和7年7月28日（月）～29日（火）

視察先及び内容

○滋賀県湖南市「予算・決算審査について」 「事業評価の取組について」

- ・平成26年3月から、9人の予算常任委員会、8人の決算常任委員会を設置して審査を行い、現在もその形で運用しています。審査の進め方としては、部局ごとの審査とし、部局ごとに予算委員会資料をつくり、それに沿って各部課長から説明を受け審査を行っています。
- ・次年度の予算編成に反映できるよう、決算常任委員会において決算審査の後、前年度の事業について事業評価を実施しています。



湖南市での視察の様子

○岐阜県関市「予算・決算審査について」

- ・平成22年3月から、議長を除く全議員の予算特別委員会を設置し、審査を行っています。予算審査を全議員で行っている理由としては、新年度予算については全議員が把握しておくべきということ、全議員に発言できる機会があったほうがよいという考えのためです。審査は、各部局ごとに説明を受けた後、予算費目ごとに行っています。



関市での視察の様子

伊勢市議会の4年間の主な取り組み

令和3年(2021年)11月から令和7年(2025年)11月までの伊勢市議会の4年間の主な取り組みを紹介します。市民に開かれた議会のあり方について調査を行うため、議会のあり方調査特別委員会の中に3つの分科会を設け、専門的に協議、検討を行ってきました。令和7年11月27日からは新たな体制となりますが、これからも引き続き議会改革を進めていきます。

●いせ市議会だより表紙の題字を市内小学校の5年生の皆さんから募集しました。

【令和6年(第77号)～】

平成30年12月号から市内小学校を順番に回り、表紙の題字を募集し、令和6年(第76号)で全ての小学校の題字を掲載することができました。令和6年(第77号)から募集方法を一部変更し、市内小学校の5年生を対象に募集しています。

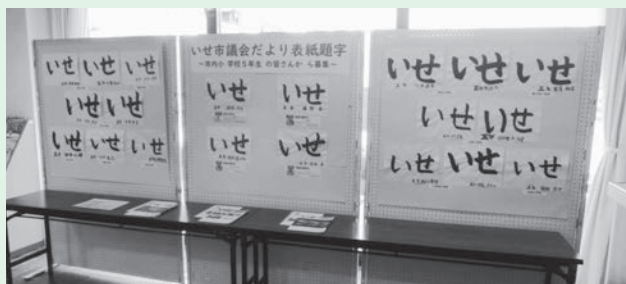


過去のいせ市議会だよりは
こちらからご覧いただけます。

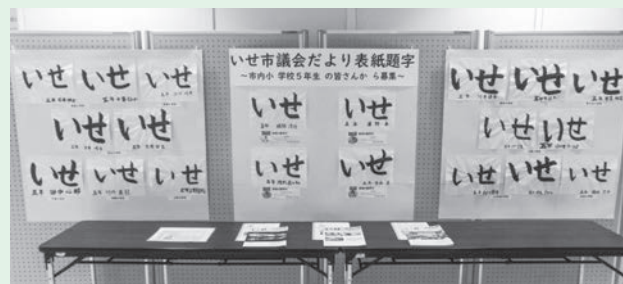


●いせ市議会だより表紙の題字に応募いただいた皆さんの習字作品を展示しました。

【令和6年(第77号～第80号)】



市役所小俣総合支所 1階ロビーでの展示



市役所本庁舎 1階ロビーでの展示

●高校生議会を実施しました。

【令和4年8月】、【令和5年8月】、
【令和6年8月】



伊勢市高校生議会(令和6年8月7日)

●高校生との意見交換会を実施しました。

【令和7年8月】

※16ページにも掲載しています。

主権者教育の一環として、未来を担う高校生が市議会議員との対話を通じ、自らの主張を述べることで議会など政治に関心を深めていただく機会とするとともに、今後の市政の参考とすることを目的に意見交換会を実施しました。

令和6年8月の高校生議会の際に実施した「参加者交流会」が好評であったことから、令和7年度は方向性を変え、議員と高校生との意見交換に重点を置いた内容としました。

●議会 ICT 検討分科会による研修会を開催しました。

【令和5年3月】

議会資料のペーパーレス化を進めるための研修会を開催しました。



議会 ICT 検討分科会による研修会
(令和5年3月15日)

●議会のデジタル化を推進しました。

【令和4年11月】

オンライン会議に向け、Zoomを活用したオンライン会議の接続テストを実施しました。



オンライン会議の接続テスト
(令和4年11月24日)

●伊勢市議会議員政治倫理条例の一部を改正しました。

【令和5年12月】

地方自治法の一部が改正され、議員の成り手不足解消のため、請負に関する規制を緩和しました。

●市議会防災訓練を毎年度実施しました。

【令和4年7月】、【令和5年3月】、【令和7年3月】、【令和7年8月】

「伊勢市議会業務継続計画（議会BCP）」に基づき、市議会防災訓練を毎年度実施しました。訓練は、議会休会中の災害発生を想定した非常参集、安否確認、非常通信等を行いました。また、伊勢市消防本部協力のもと、心肺蘇生法や応急手当の講習を受けました。



市議会防災訓練（令和7年3月25日）



普通救命講習（令和5年3月22日）

詳細はこちら



（議会BCPの対象とする想定災害）

1. 伊勢市内で震度5強以上の地震が発生したとき
2. 伊勢市に大津波警報が発表されたとき
3. 暴風、豪雨、洪水、土砂災害などで局地的又は広範囲な災害が発生したとき
4. 伊勢市内で大規模な火災、爆発、水難等が発生したとき
5. その他重大な災害が発生したと議長が認めるとき

●議会ツアーを実施しました。

【令和4年】、【令和5年】、【令和6年】、【令和7年】 4年間で合計1,409名参加



議会ツアー（令和7年5月8日）

詳細はこちら



表紙の題字は

市内小学校5年生の方々に応募いただいた作品の中から、今回は伴さんの「いせ」を採用しました。



将来の夢

私はパン屋さんになって、いろんなパンを作って、みんなが「おいしい」と言ってくれるパンを作りたいです。

宮山小学校5年 伴 ころ

高校生との意見交換会を実施

未来を担う高校生との対話・意見交換を通じ、今後の市政の参考とするため、「高校生との意見交換会」を令和7年8月7日(木)と8月20日(水)に実施しました。

当日の様子



概要

8月7日は宇治山田商業高等学校、皇學館高等学校、伊勢まなび高等学校の皆さんと「10年後の伊勢市にのぞむこと」をテーマに、8月20日は伊勢工業高等学校、伊勢学園高等学校の皆さんと「伊勢市の自慢できるところ」をテーマに意見交換を行いました。



宇治山田商業高等学校



皇學館高等学校・伊勢まなび高等学校



伊勢工業高等学校



伊勢学園高等学校

問い合わせ先

伊勢市議会事務局（本館3階）
〒516-8601
伊勢市岩渕1丁目7番29号
☎ 0596-21-5630
FAX 0596-21-5631
✉ gikai@city.ise.mie.jp

編集

議会のあり方調査特別委員会 広報広聴検討分科会

会 長	上村 和生	委 員	井村 貴志
副 会 長	久保 真		野崎 隆太
			野口 佳子
			品川 幸久
			藤原 清史